

<p>2</p> <p>11 番 吉川 重雄議員 (80 分) 10 : 40 ~ 12 : 00</p>	<p>1. 今後の高齢者対策について</p> <p>「人生 100 年時代」と言われる中で、町の高齢化率は 33% を超え、町民の 3 人に 1 人が高齢者という状況である。これからは高齢者に力点を置いた行政運営が最重要課題であると考えます。今後の高齢者対策の具体的検討はされているか、町長の見解を問う。</p> <p>2. 町民要望等への対応について</p> <p>町民から寄せられる多くの要望や意見に対しては、迅速な対応が望まれる。町民要望等への対応状況や確認はどのようにされているのか。また、町民要望等に対し、職員の不誠実な対応がなされたと聞き及んでいる。公務員としてあるべき教育は十分にできているか、町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>3</p> <p>3 番 竹内恵美子議員 (60 分) 13 : 00 ~ 14 : 00</p>	<p>1. 振り込め詐欺(特殊詐欺)の被害防止について</p> <p>振り込め詐欺とは、電話やはがきなどの文書で相手をだまし、金銭の振り込みを要求する犯罪行為であり、詐欺事件の総称として 2004 年に警察庁が命名したものである。</p> <p>面識のない不特定多数の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、対面することなく被害者をだまし、被害者に現金などを振り込ませたりする特殊詐欺の一種である。</p> <p>新聞紙上やテレビでオレオレ詐欺や振り込め詐欺が騒がれている。最近では、特に特殊詐欺が増えているようである。そこで、伺う。</p> <p>(1) 本町(大磯警察署管内)の詐欺被害の現状はどうか。</p> <p>(2) 本町(大磯警察署管内)の詐欺への取組みはどのようなか。</p> <p>(3) 本町の今後の対策は。</p> <p>2. ごみの戸別収集の方向性、災害時の廃棄物処理について</p> <p>県内ではすでに戸別収集を導入している自治体があり、先日行われた海老名市長選挙でもごみの戸別収集が争点になっていた。戸別収集を行っている自治体に住む知人の話では、戸別収集が始まってから、なおごみの分別や出し方にも一層気を付けるようになったと聞いており、戸別収集のメリットも大きいと思う。</p> <p>また、毎年のように日本各地で大きな災害が発生し、今年は特に台風 15 号、19 号により大きな被害、特に水害が大規模で発生し、家庭から出される廃棄物が大きな課題になっている。</p> <p>そこで、ごみの戸別収集、災害時における廃棄物処理についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(1) 6 月議会定例会の一般質問において、ごみ収集について、ごみ集積場所を活用したステーション方法で行うのか戸別収集により行うのか、調査・研究をし、検討すると答えていたが、ごみの戸別収集の検討内容や今後の方向性やスケジュールについて伺う。</p> <p>(2) 今年の台風被害は関東地方に集中して発生しており、河川の氾濫により多くの家屋が水没するなど浸水被害による廃棄物が大量に出され、その処理に困っている状況が報道されていた。</p> <p>大磯町でも同様の被害が発生した時に出される廃棄物の処理方法などについてどのように考えているのか伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>4</p> <p>12 番 飯田 修司議員 (70 分) 14 : 15～15 : 25</p>	<p>1. 三沢川の雨水・洪水対策は 三沢川流域の東町・長者・山王・北下・神明にとっては、三沢川の増水は非常に関心が大きい。三沢川のBACKWATER対策として水門の設置、水くみ上げポンプの設置等、花水川を管理する県に対して河口域の平塚市と連携をとり働きかけてほしいが、いかがか。</p> <p>2. 大磯駅前広場整備の目的は 平成 20 年 6 月約 6,000 名の署名とともに、「安全・安心のまちづくりのため大磯駅周辺の道路・歩道整備を求める要望書」が知事と町長に提出された。これが原点ではないのか。</p> <p>3. 旧吉田茂邸の引き渡しについて 平成 28 年 6 月付けの「旧吉田茂邸再建工事完成図」と内容が大きく異なるが、その点についてどう考えるか。</p> <p>4. 大磯港賑わい交流施設について 事業目的に「みなと下町一帯の賑わい創出やマチナカへの賑わいの拡大を図るため」とあるが、いつ、そのような展開がはかられるのか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
<p>5</p> <p>9 番 二宮加寿子議員 (55 分) 15 : 40～16 : 35</p>	<p>1. ヘルプマークやヘルプカード導入の取組みについて 高齢者や障がい者などが健常者と同様の生活ができるようなノーマライゼーション社会の実現に向けた取組みの中でも、特に内部障害や難病を抱えた方、また妊娠初期の方など、援助や支援を必要としていることが外見では判断がつかない方に対する取組状況を伺う。 (1) 町民などへの周知における取組状況について。 (2) ヘルプマーク、ヘルプカードの取組みにおける認識と取組みに対する町の考え方について。</p> <p>2. 健康寿命延伸への取組みについて 日本は今、国を挙げて「人生 100 年時代」を見据えた社会政策として予防医療の普及と高齢者雇用の拡大を柱に、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指した取組みを進めている。病気を未然に防ぐことや、がん検診などで病気を早期に診断、発見する予防があるが、大磯町の具体的な取組みについて伺う。 (1) 予防の取組状況は。 (2) がん検診の受診率は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>6 2番 石川 則男議員 (80 分) 16 : 50 ~ 18 : 10</p>	<p>1. おおいそ福祉会に対する今後の方針について おおいそ福祉会が早期かつスムーズに移転が行われるためには、町としてどのようなアクションが必要と考えるか。</p> <p>2. 大磯港賑わい交流施設の整備について (1) 整備の進捗状況で計画どおりのものは何で、遅れているものは何か。 (2) 食材等を出品する農水産業者や事業者等の登録者目標及び現在の登録者数は。</p> <p>3. 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について (1) 「賑わい創出」という点は一旦、考慮から外し、令和元年9月23日に開催された町民説明会で説明のあった「現状からの主な変更点」のうち、安全・安心を実現するために最小限のコストで実施できる施策を選び、次の段階で旧駐輪場・民間所有地等を含めた開発計画を進めるといふ考えはあるか。 (2) 令和元年11月20日に開催された総務建設常任委員会において、平成7年10月に町とJR東日本の間で打ち合わせが行われ、「整備終了後の平成9年12月に町道認定を外す」という協定を結んだとの説明があったが、町道認定を外していない理由は。</p> <p>4. 下花水橋北側の堤防を設置すべく、町の行動を期待する町民の声にどう応えるか 令和元年10月の台風19号で花水川の水位が4メートルを超えた。花水川の堤防が決壊し浸水による被害が生じた場合、大磯町、平塚市、神奈川県や堤防設置に反対している住民に対して、損害賠償を請求すると憤慨している町民の声に対し、町はどう考えるか。</p> <p>5. 大型投資を休止する考えはないか 町民から町へ修理等の要望を出しても予算がないためできないと町から言われるとの声を色々な場所で聞く。1年あるいは2年大型投資を休止して町民の要望に応える考えはないか。</p> <p>6. 旧吉田茂邸の運営について 平成30年度決算特別委員会において旧吉田茂邸は都市公園法・博物館法により利益を出すことができないとの説明があったが間違いはないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>
---	---	---

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>7 15番 柴崎 茂議員 (80分) 9:00~10:20</p>	<p>1. 杉崎茂法律事務所を二度と使うな 平成28年12月15日から令和元年6月21日まで続いた町施設明渡し裁判で双方の主張に何も反映されなかった地方自治法第96条第11項、同第237条第2項について、法にたけた弁護士事務所とは言えないため、町民の負託にとどのつまり応えられないと考える。町としては善処すべきではないか。</p> <p>2. 広報掲示板の利用基準について 広報掲示板に池田県会議員の県政報告会なるビラが貼られているという話がある。町会議員はいかなる時も認められないとの話もある。何が行政で何が政治として判断しているか。</p> <p>3. 「中学校給食を自校式にした」は正しい選択か 「中学校給食を自校式に」は、6月の町議会議員選挙時には1人であったものが、9月議会一般質問では6人から同様の質問と主張がされている。町が決めた手続きはどのようなものであったか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

<p>9</p> <p>8 番 奥津 勝子議員 (55 分) 13 : 00～13 : 55</p>	<p>1. いじめ問題への対策について 全国の小中学校や特別支援学校でいじめ認知件数がまた過去最多を更新した。 (1) 本町での認知件数は。 (2) いじめ防止対策推進法に定義されている「重大事態」の実態は。 (3) 町教育研究所との関わりは。</p> <p>2. 大磯町社会福祉協議会と町の関係性について さまざまな分野で福祉事業を展開している町民とともに歩む大磯町社会福祉協議会への今後の町の考えを問う。 (1) 委託した学童保育の実態は。 (2) 朝の居場所づくり事業の内容と委託された経緯は。</p> <p>3. 認知症対策を問う 今後 10 年以内に 65 歳以上の高齢者の 5 人に 1 人が認知症になると予測される。認知症は誰でもなり得るもので、また誰もが認知症の家族のケアに直面する可能性がある時代になった。 (1) 現状と徘徊者保護体制は。 (2) 見守り強化のために QR コード付きラベルシールの導入を提案するが、どう考えるか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>10</p> <p>6 番 吉川 諭議員 (60 分) 14 : 10～15 : 10</p>	<p>1. 幼児教育・保育の無償化と町の子育て行政について 平成 27 年 4 月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」と今年 10 月に実施された幼児教育・保育の無償化により、大磯町の子育て行政は大きな過渡期を迎えている。新制度の実施により多様化する保護者のニーズに対応した面がある一方で、制度の複雑化や事務作業の煩雑化により幼児教育・保育の現場への影響を懸念する声もある。現在及び今後の町子育て行政について、以下の 3 点を問う。 (1) 幼児教育・保育の無償化が消費増税による子育て世代の負担軽減のための施策であることを踏まえれば、一定の教育水準を満たす認可外保育施設の対象保護者も無償化の対象とすることが公平性の見地からも望ましいと考えるが、町の考えを問う。 (2) 幼児教育・保育の無償化が来年度以降の待機児童にどのような影響を及ぼすか、いつまでに、そしてどのように判断し取り組むか。 (3) 高い教育と保育の質を確保するために、各保育教育施設及び子育て行政の現場における事務の効率化とスリム化が必須であるが、町としてどう取り組むか。</p> <p>2. 町ホームページの活用について スマートフォンの普及率が伸びている情報化社会の現代において、町内のイベント情報・防災・観光・町の魅力発信・町政情報など、情報発信手段としての町ホームページの担う役割は大きい。簡潔で見やすく、訴求力のあるデザインや、必要な情報へのアクセシビリティの向上など利用者の目線による改善が必要と考えるが、今後どのようにホームページを活用していくのか、町の認識と考えを問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

<p>11</p> <p>13 番 玉虫志保実議員 (60 分) 15 : 25 ~ 16 : 25</p>	<p>1. 大磯町の児童生徒の教育環境について</p> <p>次期総合計画の策定に向けて、「10年後の大磯町を考えよう」をテーマに卓話集会が開催された。次期総合計画は人口減少期初めての総合計画であり、人口減少・少子高齢化が引き起こすことについて説明された。様々な影響が予測される中、町は平成 29 年度に策定した大磯町公共施設等総合管理計画にも取り組んでいる。現在進行中の事業やこれから計画していく事業は、30年、40年先まで大磯町が存続できるためのものであるのか。観光客がいても住民がいなければ町は存続しない。町の未来を担う人材は大切に育てなければならない。そこで、大磯町の児童生徒の教育・育成に関わる公共施設の在り方等について質問する。</p> <p>(1) 町の安全・安心の中でも、特に駅前広場周辺における事業を町は優先しているが、未来を担う町の子どもたちが毎日通う「学校」の安全・安心についてはどう考えているのか。老朽化した学校施設の現状をどのように捉えているのか。現状に対し今年度行う補修等はあるのか。また、来年度からどのように進めていくのか。町の考えを問う。</p> <p>(2) 「大磯町公共施設等総合管理計画」では、公共建築物の施設総量(延べ床面積)を 15%削減する目標を掲げ、「学校教育施設」の方向性は存続とし、長寿命化を推進するとしている。大磯中学校の 3 号館は、基本設計を行い、平成 31 年度に大規模改修設計としていたが給食事業との関連により休止した。学校施設は台風などの災害時の避難場所としての利用が増えている中、教育研究所の移転や中学校給食施設の建設を 2 校同時に進めている。これらの事業を町の公共施設等総合管理計画に合わせて今後どのように進めていくのか。</p> <p>(3) 町では長期的な取り組みとして「コミュニティ・スクール」の研究・検討を始めた。具体的にどのように地域の力を活かし、現状の教育環境、学校教育施設を開かれた学校として機能させていくのか。</p> <p>(4) 町の子どもたちへの身近な社会教育環境として図書館がある。老朽化が目立つ。町内の本屋の閉店により、身近に本屋がない環境の中で図書館の果たす役割は大きいと考える。子どもを初め町民の安全・安心な読書環境を保つため、郷土の文化資料の保存場所としての図書館本館を今後どのように存続させていくのか。また、分館についてはどう考えるのか。</p>	<p>町 長 教育長</p>
---	---	--------------------

<p>12 1 番 鈴木 京子議員 (80 分) 16 : 40 ~ 18 : 00</p>	<p>1. 町民の信頼を失う情報提供の見直しを求める</p> <p>令和元年 11 月 20 日の総務建設常任委員会で、大磯駅前広場において町道認定を当時の国鉄（JR）に無断で行っただけでなく、認定を外す約束を棚上げにしてきた事実が初めて明らかになった。</p> <p>事業を進める議論の大前提となる情報提供のあり方が、町民の信頼を得る観点に立っていないことは大きな問題と考える。加えて、自らの不備を認めないことも散見され、不信の要因となっているのではないか。そこで、下記の件について認識を問う。</p> <p>(1) なぜ、駅前整備の重要課題を今まで公表しなかったのか。町長は、いつこの事実を知ったのか。町民に広く謝罪した上で、計画は白紙にしてやり直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) なぜ、大磯港の賑わい交流施設の最初の工事請負契約の議案を提案する際、高圧受電施設の設計が済んでいないことを説明しなかったのか。</p> <p>(3) なぜ、国民健康保険税改定の諮問の際、町全体の財政状況と国の通知のフェアな情報を国民健康保険運営協議会に提供しないのか。県における直近の情報の扱いはどうするのか。</p> <p>(4) なぜ、かたつむりの家の明渡し裁判において、自らの不備を認める姿勢はないのか。</p> <p>(5) なぜ、町民の日常生活直結の事業費を増やさないのか。財政運営と優先順位の考え方の情報提供不足とは考えないのか。</p> <p>(6) なぜ、時間外手当の支給が実態と合っていないことを放置し続けるのか。職員に対する情報提供のあり方に問題はないか。</p>	<p>町 長</p>
---	---	------------

1 2 名 3 1 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。